

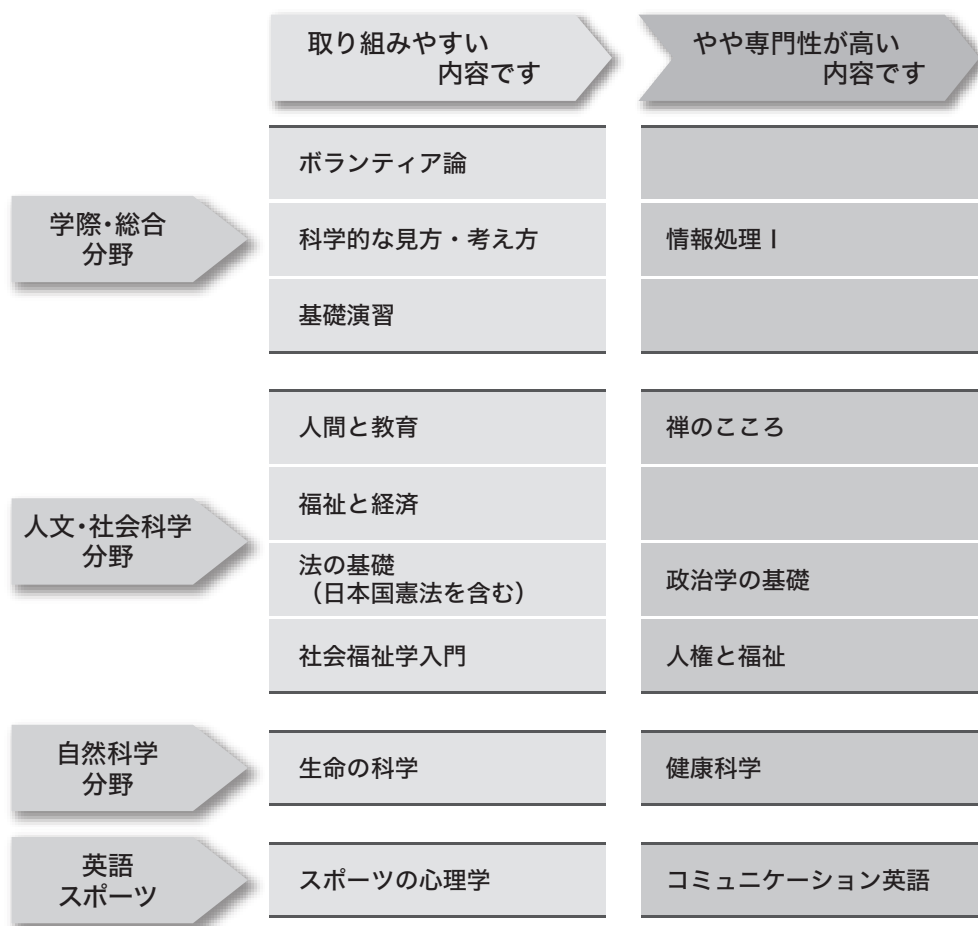
Ⅲ 共通基礎科目・社会福祉学科専門科目 履修系統図

履修系統図とは、推奨する学習の順序や各科目の間の関連性を示した図です。

1 共通基礎科目 履修系統図

【履修上の留意点】

- 1) 1年次入学者は、下記の共通基礎科目から、卒業までに18単位以上修得する必要があります。
- 2) 「コミュニケーション英語」「スポーツの心理学」「特講科目」はスクーリング受講が必須となります。



2 社会福祉学科専門科目 履修系統図

【履修上の留意点】

- 1) 配当年次が3・4年の科目は1・2年の科目の理解を基礎にしています。3年次編入学者も1年目は原則として1・2年の科目のなかから履修してください。
- 2) ただし、たとえば、1年の科目の理解がないと、2年の科目に進めないということはありません。受講しやすいスクーリングから受け、取り組みやすいレポートから提出していった方が通信教育部での学習は円滑に進みます。
- 3) * 「障害の理解」「生活行動と人体」「介護技術」「障害児の心理」は2018年度までの開講となります。
- 4) ** 「レクリエーション概論」「レクリエーション実技」「レクリエーション事業」は2017年度までの開講となります。

通信教育部 社会福祉学科 履修系統図

系統・内容	1年	2年	3年	4年
社会福祉基礎系 「社会福祉基礎系」 社会福祉学に関する基礎的な内容を理解する。 ※社会福祉士・精神保健福祉士共通科目	福祉社会学 福祉心理学 障害者福祉論	社会福祉原論（職業指導を含む） 地域福祉論 福祉法学 医学一般	社会保障論 公的扶助論 福祉行財政と福祉計画 保健医療サービス論	
社会福祉士専門系 「社会福祉士の専門性を学ぶ」 社会福祉士として福祉の現場で活躍できる基本的実践力を育てることを目指し、福祉の変遷と現代社会における福祉の課題を理解し、福祉の現場をより多く体験していく。 ※社会福祉士指定科目	児童・家庭福祉論 高齢者福祉論 介護概論	社会福祉援助技術総論 社会福祉援助技術A 社会福祉援助技術B 更生保護制度論 社会福祉援助技術演習A 社会福祉援助技術実習指導A ※スクーリング受講は3年次以上	社会調査の基礎 福祉経営論 就労支援サービス論 社会福祉援助技術演習B	社会福祉援助技術演習C 社会福祉援助技術実習指導B 社会福祉援助技術実習
精神福祉士専門系 「精神保健福祉士の専門性を学ぶ」 精神保健福祉士として医療・福祉の現場で活躍できる基本的実践力を育てることを目指し、福祉の変遷と現代社会における福祉の課題を理解し、福祉の現場をより多く体験していく。 ※精神保健福祉士指定科目		精神保健福祉の理論 精神保健福祉のサービス 精神保健福祉援助技術総論Ⅱ 精神保健福祉援助技術各論 精神障害者の生活支援システム 精神保健学 精神保健福祉援助演習A	精神保健福祉の制度 精神医学 精神科リハビリテーション学 精神保健福祉援助演習B 精神保健福祉援助実習指導A 精神保健福祉援助実習A	精神保健福祉援助演習C 精神保健福祉援助実習指導B 精神保健福祉援助実習B

「社会福祉学応用」 社会福祉学を社会・人文科学的な対象として捉えるだけでなく、周辺の学問領域から多角的に福祉問題を分析し対処していく能力を育てる。特講科目では様々な福祉・心理領域からのテーマによるスクーリングを開講する。	福祉思想論	公衆衛生学	福祉リスクマネジメント	社会福祉法制	卒業研究
	NPO論	知的障害者福祉論	家族法	国際福祉論	
	障害の理解*	福祉用具と生活支援	医療・福祉経済論	ケアマネジメント論	
	発達障害者の地域支援	リハビリテーション論	統計情報を見る眼	介護技術*	
	認知症介護論	発達障害者の理解と支援	生活行動と人体*		
	福祉ボランティア活動				
	心理学概論	臨床心理学			
	社会心理学	障害児の心理*			
	産業心理学	犯罪非行心理学			
	生涯発達心理学	ライフサイクルと福祉心理学			
人間関係論					
教育心理学					
老年心理学					
カウンセリングⅠ	カウンセリング演習Ⅰ				
カウンセリングⅡ	カウンセリング演習Ⅱ				
特講・社会福祉学※1年次受講分	特講・社会福祉学※2年次受講分	特講・社会福祉学※3年次受講分	特講・社会福祉学※4年次受講分		
特講・福祉心理学※1年次受講分	特講・福祉心理学※2年次受講分	特講・福祉心理学※3年次受講分	特講・福祉心理学※4年次受講分		
資格関連系	「レクリエーション・インストラクターの専門性を学ぶ」	レクリエーション概論**	レクリエーション実技** レクリエーション事業**	レクリエーションに関する専門知識と実践技術を修得する。	

Ⅳ 社会福祉学科 入学1年めの履修登録科目

入学して最初の履修登録を決めるにあたっての留意点は下記のとおりです。

- 1) 入学1年めに学習する科目を30～40単位以内で選択してください。
- 2) 入学1年めにスクーリングを受講しようと思う科目は履修登録してください。
- 3) 10月生は、入学時は3月までにスクーリングを受講するなど学習予定の20～30単位の履修登録にとどめ、2月の追加履修登録の機会に4月以降学習する科目の履修登録をするとよいでしょう。
- 4) 「介護概論」を履修登録する方は必ず「高齢者福祉論」もセットで履修登録する必要があるなどp. 80～81の「セット履修科目」については注意してください。
- 5) その他履修登録の一般的な考え方・留意点については2章で、卒業要件単位数についてはp. 41～45に記載があるので、お読みいただいたうえで履修登録してください。
- 6) 社会福祉士国家試験受験資格希望者は3章2節を、精神保健福祉士国家試験受験資格希望者は3章3節をお読みいただいたうえで履修登録してください。

● 1年次入学者

- ・開設授業科目一覧の配当年次が「1年以上」の科目から履修登録してください。
- ・p. 57～58の「履修モデル」の「1年次」の欄を参考にして科目を選択してください。
- ・「共通基礎科目」も含めて自分の関心に応じて学びたい科目を選択してください。

● 2年次編入学者

- ・開設授業科目一覧の配当年次が「1年以上」「2年以上」の科目から履修登録してください。「2年以上」の科目を選ぶ場合p. 54～55の「履修系統図」も参考にしてください。
- ・2年次編入学者に対する「履修モデル」はありませんが、めざす資格に応じて3章もよく読み、3年生に進級後に不利益にならないように履修登録してください。

● 3年次編入学者

- ・開設授業科目一覧の配当年次が「1年以上」「2年以上」「3年以上」の科目から履修登録してください。
- ・社会福祉士取得希望者→原則としてp.96の「3年次編入学者 1年めに履修登録」の科目を登録してください。その他3章2節は必ずお読みください。
- ・精神保健福祉士取得希望者→原則としてp.116の「3年次編入学者 1年めに履修登録」の科目を登録してください。その他3章3節は必ずお読みください。

● 2・3年次編入学者で社会福祉士・精神保健福祉士取得を希望せず、主に大学卒業を希

望している方

- 1) 専門必修科目のうち入学1年めに「社会福祉原論（職業指導を含む）」「地域福祉論」「福祉法学」は履修登録を推奨します。
- 2) 専門選択科目の選び方に指定はありませんが、下記を参考にしてください。
 - ① 『レポート課題集』を参照し、ご自分の興味関心に応じて科目を選択する。
 - ② 配当年次が「1年以上」「2年以上」の科目の方が「3年以上」の科目より基礎的なので選択する（履修系統図も参照）。
 - ③ スクーリングに出席しやすいような科目から選択する。
 - ④ 履修証明プログラム「福祉実践職（高齢者分野）基礎力養成」「福祉実践職（障害者分野）基礎力養成」をめざすように履修登録を行う。
- 3) 「演習・実習指導科目」は受講条件があります。また、社会福祉士・精神保健福祉士の資格取得を希望しない方は、「社会福祉援助技術演習A」「精神保健福祉援助演習A」以外の「演習・実習指導科目」の履修登録はできません。

V 社会福祉学科 1年次入学者 履修モデル

履修モデルとは、卒業までに各学年で履修する科目を一例としてあげたものです。

1 社会福祉学科 1年次入学者 履修モデル

	共通基礎科目	専門必修科目	専門選択科目	
1年次 (35単位)	ボランティア論(2) 基礎演習(1) 人間と教育(4) 社会福祉学入門(1) 他4単位履修		福祉社会学(4) 福祉心理学(2) 心理学概論(4) 児童・家庭福祉論(4)	高齢者福祉論(2) 介護概論(2) 障害者福祉論(4) 障害の理解(1)
2年次 (35単位)	人権と福祉(1) 他5単位履修	福祉法学(2) 社会福祉原論（職業指導を含む）(4) 地域福祉論(4)	医学一般(2) NPO論(2) 福祉用具と生活支援(4) 精神保健福祉の理論(2) 認知症介護論(1)	社会福祉援助技術総論(4) 福祉ボランティア活動(1) 社会心理学(2) 特講・社会福祉学(1) ↑その年に開講されているもの
3年次 (31単位)		社会保障論(4) 公的扶助論(2)	家族法(4) ライフサイクルと福祉心理学(1) カウセリングⅡ(1) 産業心理学(2) ケアマネジメント論(4) 保健医療サービス論(2)	医療・福祉経済論(2) 福祉経営論(2) 社会福祉援助技術論A(2) 社会福祉援助技術論B(2) 知的障害者福祉論(2) 人間関係論(1)
4年次 (23単位)			福祉リスクマネジメント(4) 統計情報を見る眼(2) 老年心理学(4) リハビリテーション論(2)	社会福祉法制(4) 国際福祉論(4) 特講・社会福祉学(1) 福祉思想論(2)
合計 (124単位)	18単位	16単位	90単位	

2 社会福祉学科（社会福祉士受験資格取得）1年次入学者 履修モデル

	共通基礎科目	専門必修科目	専門選択科目（指定科目）	専門選択科目
1年次 (37単位)	ボランティア論(2) 基礎演習(1) 人間と教育(4) 社会福祉学入門(1) 他6単位履修		福祉社会学(4) 福祉心理学(2) 児童・家庭福祉論(4) 高齢者福祉論(2) 障害者福祉論(4) 介護概論(2)	心理学概論(4) 福祉ボランティア活動(1)
2年次 (36単位)	人権と福祉(1) 他3単位履修	福祉法学(2) 社会福祉原論（職業指導を含む）(4) 地域福祉論(4)	医学一般(2) 更生保護制度論(1) 社会福祉援助技術論A(2) 社会福祉援助技術論B(2) 社会福祉援助技術演習A(3) 社会福祉援助技術実習指導A(1)*1・2 社会福祉援助技術総論(4)	NPO論(2) 福祉思想論(2) 発達障害者の地域支援(1) 認知症介護論(1) ライフサイクルと福祉心理学(1)
3年次 (33単位)		社会保障論(4) 公的扶助論(2)	社会福祉援助技術演習B(3) 社会調査の基礎(2) 福祉行財政と福祉計画(2) 福祉経営論(2) 保健医療サービス論(2) 就労支援サービス論(1)	医療・福祉経済論(2) 知的障害者福祉論(2) ケアマネジメント論(4) 人間関係論(1) リハビリテーション論(2) 老年心理学(4)
4年次 (18単位)			社会福祉援助技術演習C(3) 社会福祉援助技術実習指導B(2)*1・2 社会福祉援助技術実習(4)*2	福祉リスクマネジメント(4) 福祉用具と生活支援(4) 特講・社会福祉学5(1)
合計 (124単位)	18単位	16単位	54単位	36単位

- *1 課題1レポートのみ2年次以上。その他の学習（課題2・3レポート、スクーリング）は3年次以上。
*2 実習免除者は履修不要。卒業要件を満たすためには、「専門選択科目」から上表に記載のない7単位の履修が必要。

3 社会福祉学科（精神保健福祉士受験資格取得）1年次入学者 履修モデル

	共通基礎科目	専門必修科目	専門選択科目（指定科目）	専門選択科目
1年次 (39単位)	ボランティア論(2) 基礎演習(1) 人権と福祉(1) 科学的な見方・考え方(4) 社会福祉学入門(1) 他9単位履修		福祉社会学(4) 福祉心理学(2) 障害者福祉論(4)	心理学概論(4) 福祉ボランティア活動(1) 高齢者福祉論(2) 老年心理学(4)
2年次 (38単位)		社会福祉原論（職業指導を含む）(4) 地域福祉論(4) 福祉法学(2)	医学一般(2) 精神保健福祉援助技術総論Ⅰ・Ⅱ(4) 精神保健福祉援助技術各論(2) 精神保健福祉の理論(2) 精神保健福祉のサービス(2) 精神保健学(4) 精神保健福祉援助演習A(1)	知的障害者福祉論(2) 社会福祉援助技術総論(4) 社会福祉援助技術論A(2) 社会福祉援助技術論B(2) 認知症介護論(1)
3年次 (35単位)		社会保障論(4) 公的扶助論(2)	福祉行財政と福祉計画(2) 保健医療サービス論(2) 精神保健福祉の制度(2) 精神医学(4) 精神科リハビリテーション学(4) 精神障害者の生活支援システム(1) 精神保健福祉援助演習B(2) 精神保健福祉援助実習指導A(1) 精神保健福祉援助実習A(2)	ケアマネジメント論(4) 犯罪非行心理学(2) リハビリテーション論(2) ライフサイクルと福祉心理学(1)
4年次 (12単位)			精神保健福祉援助演習C(2) 精神保健福祉援助実習指導B(1) 精神保健福祉援助実習B(2)	介護概論(2) 福祉経営論(2) NPO論(2) 特講・社会福祉学6(1)
合計 (124単位)	18単位	16単位	52単位	38単位

VI 社会福祉学科1年次入学者 入学1年めの学習計画例

ここに掲載した学習計画は、4月生・1年次入学者が1年間で単位修得を目指す一例です。履修登録科目、スクーリング受講場所・日時、オンデマンド・スクーリングの利用の有無、履修方法：Rによるレポート+科目修了試験での単位修得をどの科目にするかにより、さまざまな計画が考えられます。

●4月生が、すべての履修科目について仙台でのスクーリングを受講する計画例

①～④はレポート課題の1単位め～4単位めを示します。

科目名	修得単位数		スクーリング 受講期間	レポート提出日		備考
	科目 単位	S単位		別レポート(Web) ※提出期限あり	通常レポート ※各自で期日設定	
高齢者福祉論	2	1	4/22・23	②5/8	①5/31	
福祉心理学	2	1	5/20・21	②6/5	①6/30	
基礎演習	1	1	6/3・4	—	—	
人間と教育	4	2	6/16～18	③④7/3	①②7/31	
福祉社会学	4	2	7/15～17	③④8/1	①②8/31	
ボランティア論	2	1	7/22・23	①8/7	②9/15	
科学的な見方・考え方	4	2	9/22～24	①②10/24 (郵送提出)	③④11/15	
特講・福祉心理学8 (ストレスとつきあう心理学)	1	1	10/14・15	—	—	
児童・家庭福祉論	4	2	11/3～5	③④11/20	①②12/15	
介護概論	2	1	12/16・17	②1/8	①1/31	
社会福祉学入門	1	1	12/23・24		①1/15	
心理学概論	4	2	1/6～8	③④1/23	①②2/28	
障害者福祉論	4	2	2/10～12	③2/26	①②④3/31	
政治学の基礎	2	1	3/10・11	①3/26	②4/30	
合計	37	20				

※別レポート（スクーリング受講者が回答可）提出方法：Web提出・郵送提出の2通りあり（一部科目は郵送のみ）、通常レポートと異なって提出期限が設定されています。上記の例では「科学的な見方・考え方」を除き、Web提出期限が記載されています。

●10月生の場合は、上記載の10月以降のスクーリング、および12/9・10の「基礎演習」を受講し、翌年4月以降の学習計画は1～3月に発表される翌年度のスクーリング開講予定を見てから、決めてください。

●4月生が、仙台でのスクーリング受講と科目修了試験受験を半分ずつぐらいにした計画例

①～④はレポート課題の1単位め～4単位めを示します。

科目名	修得単位数		スクーリング 受講期間	レポート提出日		科目修了 試験受験日
	科目 単位	S単位		別レポート ※提出期限あり	通常レポート ※各自で期日設定	
福祉心理学	2	1	5/20・21	②6/21	①7/31	—
基礎演習	1	1	6/3・4	—	—	—
ボランティア論	2		—	—	①②7/12	7/29
福祉社会学	4	2	7/15～17	③④8/17	①②8/31	—
障害者福祉論	4	2	8/19～21	③9/21	①②④10/31	—
健康科学	2		—	—	①②8/16	9/3
障害の理解	1		—	—	①10/4	10/21
人間と教育	4		—	—	①～④10/4	10/21
科学的な見方・考え方	4	2	9/22～24	③④10/24	①②12/15	—
児童・家庭福祉論	4	2	11/3～5	③④12/5	①②1/31	—
介護概論	2	1	12/16・17	②1/17	①2/15	—
社会福祉学入門	1		—	—	①12/13	1/13
心理学概論	4	2	1/6～8	③④2/8	①②3/15	—
高齢者福祉論	2		—	—	①②2/7	2/25
合計	37	13				

※科目修了試験を受験するには、受験する科目のレポート課題すべてを試験申込締切日までに提出する必要があります。

※別レポート（スクーリング受講者が解答可）提出方法：Web提出・郵送提出の2通りあり、（一部は郵送のみ）、通常レポートと異なった提出期限が設定されています。

※なお、上記の別レポートは郵送提出期限が記載されています。

●10月生の場合は、上表記載の10月以降のスクーリング、および12/9・10の「基礎演習」を受講し、翌年4月以降の学習計画は1～3月に発表される翌年度のスクーリング開講予定を見ながら、決めてください。

●4月生が、履修科目の4分の3をオンデマンド・スクーリングで受講し、「科学的な見方・考え方」を会場スクーリングで受講する計画例

①～④はレポート対象課題の1単位め～4単位めを示します。

科目名	修得単位数		スクーリング 受講期間	レポート提出日		科目修了 試験受験日
	科目 単位	S単位		別レポート(Web) ※提出期限あり	通常レポート ※各自で期日設定	
福祉心理学	2	1	4/27～5/26	②6/5	①7/15	—
社会福祉学入門	1	1	5/25～6/23	—	—	—
福祉社会学	4		—	—	①～④6/7	6/24
心理学概論	4	2	6/8～7/14	③④7/24	①②8/31	—
科学的な見方・考え方	4	2	9/22～9/24 (会場受講)	①②10/24 (郵送提出)	③④11/15	—
高齢者福祉論	2		—	—	①②10/4	10/21
ボランティア論	2	1	10/12～11/3	①11/13	②12/15	—
児童・家庭福祉論	4		—	—	①～④11/15	12/3
介護概論	2	1	12/7～1/5	②1/15	①2/15	—
人間と教育	4		—	—	①～④12/13	1/13
法の基礎	4	2	12/21～1/19	③④1/29	①②2/28	—
障害者福祉論	4	2	1/25～2/23	③3/5	①②④3/31	—
合計	37	12				

※オンデマンド・スクーリングでは、受講期間の最終日までに、スクーリング試験を提出する必要があります。

※科目修了試験を受験するには、受験する科目のレポート課題すべてを試験申込締切日まで提出する必要があります。

※別レポート（スクーリング受講者が解答可）提出方法：オンデマンド・スクーリング受講の場合は原則としてWeb提出が必須（一部科目は郵送のみ）、通常レポートと異なって提出期限が設定されています。

●10月生の場合、下記のような計画例が考えられます。

- 1) 上表掲載の10月以降のオンデマンド・スクーリングを受講し、上表記載の4～9月の科目は2018年4～9月に受講する。
- 2) 上記1)の考え方を原則とするが、「心理学概論」は10/26～11/24の間に受講する。余裕があれば「福祉心理学」も11/23～12/22に受講してしまう。